令和8年飯田市議会第4回定例会　会派代表質問通告表

令和8年12月2日、3日

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
1	長谷部春生 (会派きぼう) 【　120　分　】	1　市政運営について (1) 佐藤市政２期目の折り返しを迎え、前半２年間を振り返っての所感は (2) ２期目の後半へ向けて課題は (3) 次期総合計画に向けてどのような視点を重視していくか ① いいだ未来デザイン2028後期計画では「人口減少の緩和と適応」を基軸としているが、その視点の考え方は ② 次期総合計画ではどの程度リニア中央新幹線を念頭に置くか ③ 市民と市が協働して自治を推進する体制の構築についての考え方は (4) 近年の経済状況を踏まえた、長期的な市の歳入、歳出の推移をどう捉えているか (5) 人口減少の緩和と適応を全庁横断的な最重点課題と位置付け、どう取組を進めるか 2　リニア中央新幹線と三遠南信自動車道の開通を見据えたまちづくりについて (1) リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン(案)を踏まえて広域的・全市的な視点に立った土地利用の方向性を早期に示す考えは (2) リニアや三遠南信自動車道の開通を見据えた観光振興について ① いいだツーリズムビジョンの現状と成果は ② 二地域居住推進コンソーシアムの取組と今後の方向性は ③ 天龍峡や遠山郷を始めとした観光拠点の整備の考え方は (3) 交通の不便さの解消に向けた取組について ① 高齢者や学生を始めとした交通弱者対策は ② 中山間地域、市街地それぞれの交通インフラ整備への考え方は 3　活力ある産業振興と地域活性化を目指して

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	長谷部春生 (会派きぼう) 【　120　分　】	(1) 農林業、商工業、建設業など様々な分野で担い手、後継者、技術者の不足への認識と対策は (2) 中心市街地の活性化に向けた取組について ① まちなか将来ビジョン（仮称）の目的とその策定に当たっての考え方は ② 飯田市立動物園開園80周年に向けた改修に当たっての考え方は 4　子育て支援と医療・福祉・介護の充実に向けて (1) 「思いきり遊ぶ親子交流施設」について ① 基本構想の検討状況と今後の取組は ② 「（仮称）飯田こども広場」としての複合施設整備の今後の方向性は (2) 地域医療を守るために飯田市立病院の経営課題の整理と対策の状況は (3) 医師、看護師、介護士を始めとしたエッセンシャルワーカーの確保についての考え方は 5　教育の充実と人づくりの拠点施設について (1) 新文化会館整備方針「「飯田ひろば」実現のための基本方針」において飯田文化会館の大ホール機能の整備への考え方は (2) これからの学校のあり方審議会の二次方針へ向けた答申への考え方は (3) 社会体育施設への空調整備の考え方は (4) 放課後児童クラブの学校施設等を活用する考えは 6　安全・安心なまちづくりについて (1) 飯田市防災アセスメントの結果とその対応状況について ① 市の対応は ② 各地区の自主防災組織の対応は (2) 防災庁の地方自治体向け緊急要請への対応状況は (3) 広域避難の受入に関する対応状況は
2	佐々木博子 (新政いいだ) 【　100　分　】	1　「人口が減っても豊かに暮らせるまち」を実現するための「前向きな適応」について

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	佐々木博子 (新政いいだ) 【　100　分　】	(1) 人口減少社会をどのような社会として認識し、人口減少の何を課題として捉えているか (2) 人口減少社会と地域課題についてどう捉えているか (3)「前向きな適応」とはどのような考え方か 2　地域自治組織の在り方について (1) 自治会の歴史的・制度的に抱えてきた構造的な問題をどう捉えているか (2) 自治会加入率をどのように捉えているか (3) 加入の自由と負担の公平性に対する市の考え方は 3　地域資源を生かした飯田のブランディングと公民連携について (1)「焼肉のまち飯田」について ① 飯田焼肉の価値と今後のブランディングの方向性は ② ブランド化と地元畜産業との関係性は ③ 焼肉文化を支える民間事業者の活動と行政との連携は (2) 地域資源を生かした体験型観光の推進や広域周遊ルートの拡充などの展開は 4　移住定住と二地域居住の推進について (1) 移住定住と中山間地域の人口減少対策について ① 移住定住者の状況は ② 中山間地域への移住定住の取組は (2) 二地域居住コンソーシアムの取組について 5　誰もが暮らしやすい地域づくりについて (1) 親子交流施設の整備と中心市街地のまちづくりについて ① 「子どもの育ち」、「親子の憩い」の場といった視点からみた位置づけをどう考えるか ② 中心市街地のにぎわいづくりからみた位置づけをどう考えるか (2) 障がい児・者が地域で暮らし続けるための支援について ① 支援体制の状況は

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	佐々木博子 (新政いいだ) 【　100　分　】	②　住まいなどの生活環境の状況は 6　安全・安心な社会づくりと社会基盤整備について (1) クマとの棲み分けに向けたゾーニング管理計画と地域との役割分担は (2) 地域と民間の力を生かした防災体制の充実について ①　防災士の育成と地域防災力の強化について ②　避難所運営における民間事業者との連携の可能性は 7　脱炭素社会の実現と地域産業の振興について (1) ＧＸ（グリーントランスフォーメーション）関連産業を通じた地域産業の振興の方向性は (2) ゼロカーボンシティ実現に向けた現状の課題と今後の取組方針は
3	宮脇邦彦 (公明党) 【　120　分　】	1　市政運営について (1) 市が目指すべき８つのまちの姿について ①　いいだ未来デザイン2028後期計画の折り返しにあたり、基本構想に掲げるその普遍性をどう生かし実現させるか ②　岡山県久米郡美咲町が取り組む「賢く収縮するまち」を当市へ生かす考えは 2　来年度予算編成について (1) 経済と生活の安定を目指して ①　来年度予算編成の考え方は ②　地域内経済循環が持つ今後の視点は ③　地域産業の育成及び高付加価値化のこれからのあり方は 3　つながり寄り添う社会の構築に向けて (1) 高齢者福祉・介護支援について ①　認知症の方へのアウトリーチの実態と「新しい認知症観」の普及は ②　終活支援について、市民ニーズをどう捉えているか ③　介護人材不足対策として外国人雇用への考え方は

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦 （ 公 明 党 ） 【 120 分 】	(2) 障がい者福祉の推進について ① 医療的ケア児・者の実態把握と、見えてきた課題と対策は ② 障がい者福祉へ、いつでも相談できる環境づくりをどう描くか (3) 医療の充実と心と体の健康づくり ① 市における持続可能な医療提供体制をどう捉えているか ② 医療従事者の人材不足へ、潜在的看護師の就労を促す取組は ③ 障がい児・者への医療環境の整備をどう考えるか (4) 住民自治の推進と支援について ① 持続可能な住民自治へ「労働者協同組合法」を活用した取組を地域活性化へ生かす考えは 4 こどもを安心して生み育てられる社会へ (1) 子育て支援の充実について ① 不妊で悩む方へ、寄り添う支援のあり方は ② 産前・産後の支援へ官民連携のあり方とその活用の考えは ③ 病児保育事業の現状と課題は (2) 教育環境の充実について ① 飯田学園構想にみる「みらい創造科教育」２年目を迎え、今後の学校・家庭・地域の協働のあり方は ② 社会構造の変化から見るラーケーションの価値をどう考えるか (3) 教育的ニーズを持つ児童・生徒等への支援について ① 教育的ニーズを持つ児童・生徒及び保護者とどの様に向き合うか ② 放課後児童クラブ等における、小学校との連携のあり方は (4) いじめ・不登校・自殺問題等への対策について ① こどもや若者の第３の居場所・交流拠点として期待が高まる「ユースセンター」の価値をどう見るか

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	宮 脇 邦 彦 （ 公 明 党 ） 【　120　分　】	② 全国で小中高生の自殺者が過去最多を更新する中、当市の実態把握による受止めと、その対策は 5　地域の魅力を高め人と文化が行き交うまちへ (1) 人の流れをつくり文化をつなぐために ① 若者や女性に選ばれるまちについて、市長の想いは ② いいだ人形劇フェスタ等の継承から見えて来る、まちの魅力づくりは ③ リニア駅前広場のフレキシブルな活用への考え方は ④ 中心市街地の魅力づくりの現状と今後は 6　安全安心で快適なまちへ (1) 防災意識社会とまちづくり ① 地域の防災力を平時から底上げする取組は ② 熊本地震の教訓からトイレトレーラー導入の考えは (2) リニア整備効果とまちづくり ① リニアを見据えた二次交通の方向性と取組は ② 「都市重心」「人口重心」「交流重心」を基本に据えた「拠点集約型都市構造」によるまちづくりの今後は (3) 都市間交流とまちづくり ① 未来のご近所として、品川区との交流の現状と今後は ② 品川区とつなぐ飯田市結い保険のねらいは 7　環境文化都市を加速させるために (1) 循環型まちづくりに向けて ① サーキュラーエコノミー（循環経済）への取組と今後の展開は
4	古　　川　　仁 (日本共産党) 【　70　分　】	1　市政運営について (1) 市民の暮らしについて ① 物価高騰による家計への影響調査を継続し非課税世帯に限らず事情に応じた市独自の支援の考えは

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	古　川　仁 （日本共産党） 【　70　分　】	② 指定ごみ袋について、価格抑制・引き下げのための課題は ③ 公共交通での移動が困難な地域における、タクシー券や予約型乗り合い交通等、地域に即した移動手段をどう考えるか ④ 上下水道事業において、国が進める「複数自治体での事業一本化構想」に対する市の考えは (2) 医療について ① 子ども・障がい者の医療費受給者負担金の完全無料化の考えは ② 国・県が進める「新たな地域医療構想」に対する市の考えは (3) 教育・子育て支援について ① 小・中学校給食費の完全無償化の考えは ② 中学校の部活動地域展開について進捗状況と進めるうえでの課題は ③ 学園構想は、児童・生徒・保護者・地域の方の声を聴き進めているが、より地域全体の構想とすべきと考えるがどうか ④ 保育士確保の状況と、待遇改善等支援の考えは (4) 農業について ① 特に中山間地域の耕作放棄地の課題と解決に向けての考えは ② 国が進める「農村型地域運営組織」（農村ＲＭＯ）についての市の考えは (5) 産業経済・環境について ① 国は、期限付きでの消費税減税策を進めてはいるが、その後更なる増税が懸念される。国に対し恒久的な減税を求めるとともに、インボイス制度の廃止を国に求める考えは ② 信州大学と共に進めている「グリーン水素」事業の課題と今後の展望は (6) 安全・安心・防災について ① 自治会・自主防災会の担い手不足等課題と考えるが、行政依頼事項の見直しも含め必要であれば自治振興センターへ新たな職員を配置してはどうか

No.	氏　名	項 目 ・ 要 旨
	古　川　仁 （日本共産党） 【　70　分　】	② 防災訓練や河川美化活動等について、誰もが参加しやすいことが重要と考えるが具体策はあるか (7) リニアについて ① 環境悪化が懸念される要対策土や水質汚染等に対し安全確認委員会を立ち上げているが活動の状況は ② リニア開業までの日程・市の負担・開業後の効果等今一度再検証し、問題があれば一旦立ち止まる考えは (8) 市の窓口と職員の状況について ① 窓口での相談が途切れないよう、専門的な職員の配置はもちろん、職員相互の連携・相談者の権利の保障等が重要と考えるがどうか ② 職員の病休者（メンタル等）が増加傾向にあると聞くが状況と今後の対応は